

第三者評価結果

A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
【A1】	A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	a
<コメント> 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っています。事業所の活動として、利用者が様々な場面で選択できるように配慮しています。バウムクーヘンの製造や受注作業だけではなく、利用者の特技を活かした活動にしています。缶バッジ作りやさき織といった活動も取り入れ、自己決定を尊重した支援を心がけています。 休日活動は、カラオケやボーリング、いちご狩りなど様々なイベントを提案し、利用者の希望を優先して決めるようにしています。また、参加の有無も本人の意思を尊重しています。一泊旅行の行き先は、事前にアンケートを取り、利用者の行きたい場所ややりたい事などを踏まえて計画を立てるなど希望に沿うように努めています。		
A-1-(2) 権利侵害の防止等		
【A2】	A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a
<コメント> 利用者の権利侵害の防止に関しては、利用契約書に「身体拘束の禁止」事項を明記しています。契約時に口頭で説明を行い利用者の同意を得ています。 緊急時など、身体拘束をやむを得ず一時的に実施する際の具体的な手続きと実施方法などは法人のマニュアルでルール化されています。その場合、実施時には記録を取り、家族への報告を行うことを周知徹底しています。ま 職員は利用者一人ひとりの心身の状況の把握に努め、職員会議などで、早期発見するための話し合いを行っています。権利侵害の防止などのために、新聞や他の事例の情報を収集し、利用者や利用者の家族に書面で情報提供を行い周知に努めています。		

A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
【A3】	A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の自律・自立生活のための支援を行っています。自立・自立生活に関しては、支援計画に則って、利用者の家族や関係機関等と連携を図り自立のための支援を行っています。 1日の活動スケジュールは、利用者一人ひとりが自分で行えるよう、個人のホワイトボードを使用して分かりやすく伝える工夫をしています。 言葉での理解が困難な利用者には写真や絵を使って1日のスケジュールを順番に掲示し、1つの作業が終わると、その絵をホワイトボードから取って下の箱に入れていくようにして、写真をみながら1日の流れがわかるように工夫をしています。 文字が分かる利用者にもホワイトボードで活動毎に時間と内容を記載して、矢印で次に進んでいく事が分かるようにしています。利用者が自分の力で1日の活動が管理できるよう、職員は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には支援をするよう取り組んでいます。		

【A4】	A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っています。利用者の状況に応じて、絵カードや写真・文字盤どを使用してコミュニケーションの方法に配慮しています。 耳の不自由な利用者には、職員が基本的な手話を使ってコミュニケーションを図り、利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取り組みを行っています。 「援助記録表」では、1日の作業内容や状況を記録し、毎日の打合せや毎週の作業室会議で振り返りや話し合いを行い、職員会議では共通理解を図っています。また、毎日の連絡帳や送迎時などの会話などを通して家族との連携を図り、利用者の個別的な配慮に努めています。		
【A5】	A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	a
<コメント> 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っています。半年毎に、支援計画の見直しを行う際には個別の面談を行い、利用者の希望や相談を聞く機会としています。 毎日の関わりの中では、いつでも誰でも相談を受けれる体制を整えています。玄関にはその日に出勤する職員の顔写真を貼り、利用者へ今日はどの職員がいるのかを伝え、話をしたい職員などがすぐに分かるように工夫しています。 相談の際は、利用者の意思を尊重し、必要に応じて選択や理解のための情報提供を行い相談内容には迅速に対応できるよう、夕方の打合せの中で相談内容を検討し、共通理解を促し、個別支援計画への反映と支援の調整などに取り組んでいます。		
【A6】	A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a
<コメント> 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っています。日中活動として、利用者の希望や状況に合わせて職員と一緒に作業に取り組んでいます。バウムクーヘンの製造や箸の袋入れ、アクセサリ部品の仕分けなどを行っています。自主製品制作の販売や納品業従など、作業内容においては選択できる種類を増やすよう検討し、利用者が楽しく作業を行い、収入に繋がるように努めています。 活動プログラムでは、カラオケやボーリング、いちご狩りなど様々なイベントを提案し、利用者の希望を優先して決めるよう心がけています。地域内では、清掃活動や製作品の販売、他事業所の祭りに利用者とともに参画するなど地位交流にも取り組んでいます。		
【A7】	A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っています。利用者の支援に関しては、「自閉症研修」や「メンタル研修」など、法人内外の研修に積極的に参加して利用者状況に応じた支援を行えるよう努めています。 職員は毎日の関わりの中で、利用者の心身の状況の把握に努め、家族とは送迎時の時に話をしたり、連絡帳を使って家庭での様子を確認しながら一人ひとりの対応を心がけています。 強度行動障害を持つ利用者に対しては、毎日の活動日誌や個別支援計画書をもとに、作業室会議や職員会議で支援方法などの検討と理解・共有を行い、家族とは定期的にカンファレンスを行い理解促進に繋がっています。		

A-2-(2) 日常的な生活支援		
【A8】	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	a
<コメント> 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っています。食事については、毎月の献立表を利用者に配布しています。メニューと共にエネルギーやたんぱく質、脂質・炭水化物・食塩の量を記載し、健康管理に繋がるよう取り組んでいます。 給食会議を月1回実施し利用者の嗜好を反映できるように努め、利用者個々の提供方法を常に検討しています。最近の例では、利用者から食材が喉に引っかかり食べにくいとの意見があり、利用者の同意を得て家族に確認を行い、繊維質の多い食材は小さく切って提供するように改善しました。 個々の食事のペースに配慮し、状況により15分ほど早めに食堂で昼食を食べ始めるなど、個々の食事のペースに配慮を行っています。入浴支援は行っていませんが、排泄支援は同性介助でプライバシーの配慮を心がけています。		
A-2-(3) 生活環境		
【A9】	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	a
<コメント> 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されています。利用者の日中活動の場所は、職員と利用者で整理整頓や清掃を行い、基本的な生活習慣の習得に取り組んでいます。 利用者と一緒に整理整頓をする中で、利用者の意見や希望を取り入れ、環境設定の整備に取り組んでいます。作業所の中には個別の部屋を2つ用意し、1人で落ち着いて作業が出来るような環境を整備しています。 パーテーションなどを使って作業の場所を区切るなど、利用者の障害に合わせた個別的な配慮に努めています。また、長椅子を2つ並べて配置して毛布を用意し、体調や心身の状態により、横になって休めるよう配慮しています。		
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練		
【A10】	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b
<コメント> 機能訓練や生活訓練に関しては、法人事業部の「トランスフィットネス」を実施しています。 運動器具を使って機能訓練や生活訓練のためのストレッチプログラムを定期的に取り入れて、事業所内で機能維持に努めています。利用者の障害状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っていません。職員と一緒に清掃や整理整頓を行い、基本的な生活習慣の習得を図っています。 休日活動の地域清掃や、年1回の事業所で開催する「グランツ祭」では、地域の人々との関わりを通して生活訓練に結び付ける機会となっています。毎日の活動日誌や家族との連絡帳などをもとに、作業室会議や職員会議で一人ひとりの振り返りを行い、利用者の意向や状況に沿った個別支援計画の見直しを行っています。		
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援		
【A11】	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a
<コメント> 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っています。8月と3月に、身長・体重・血圧・血液・胸部レントゲン・尿検査・内心などの健康診断を実施し、利用者の健康管理と健康維持の増進を図っています。 検診の際は、看護師が同席し、必要に応じて健康の相談に乗っています。診断結果については、文書をもって報告し、必要によって精密検査・再検査の要請について連絡をすることとしています。バウムクーヘン作業に携わる利用者には毎月1回の検便を行っています。 法人の医師が定期巡回をしており、体調の変化などにおける対応などは連携が取れるようになっています。利用者の薬に関しては誤薬を防ぐために、事務日誌に記録して薬の管理を行っています。		

【A12】	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	
<コメント> (「医療的な支援」を実施していないため「非該当」)		
A-2-(6) 社会参加、学習支援		
【A13】	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っています。利用者は、職員と共に地域の養護学校や企業に出向き、事業所の商品説明や販売に同行や、商品の納品に行くなどの社会参加の支援を行っています 藤沢市役所での事業所で作ったバウムクーヘンの販売にも参加しています。さらに、ボーリングやカラオケなどのレクリエーションを通して社会資源を活用し社会参加を促しています。 年1回の事業所で行う「グランツ祭」では、施設内に焼きそばやおでん、ソフトクリームなどの屋台やゲームコーナー、利用者が制作した作品の展示や販売を行い、160名を超える来場者があり、地域の交流と合わせて社会参加の機会となっています。		
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援		
【A14】	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っています。地域生活への意向に関しては、法人本部と連携を取り、必要に応じて地域生活に必要な情報や学習・生活体験などの機会を設けるように努めています。 利用者のグループホームと連携を取り、体調や地域生活での課題などを把握や対応策などの検討を行い、具体的な生活環境配慮しながら利用者の自立に向けての支援を行うこととしています。支援については、利用者の意思を尊重を最優先に考えて進めることを大切にし、事業所やグループホーム、法人の他に、藤沢市などの行政や地域関係者との連携や協力のもと取り組むこととしています。		
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援		
【A15】	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	a
<コメント> 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っています。利用者の家族には、毎日の連絡帳を通じて情報の共有に努めています。 連絡帳には一日の様子を記載すると共に、献立表やお知らせのプリントを挟んで袋に入れて渡しています。送迎の家族には声掛けを行い、コミュニケーションを図っています。 現場の職員と話す場として、家族懇談会を実施しており、家族の要望や意見を聞く機会にもなっています。、家族からの相談はいつでも受け付けており、必要に応じて助言などの支援を行っています。利用者の体調不良や急変時の家族への報告や連絡ルールは法人のマニュアルに記載されており、適切に行われるよう振り返りを行って周知に努めています。		

A-3 発達支援

		第三者評価結果
A-3-(1) 発達支援		
【A16】	A-3-(1)-① 子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	
<コメント> 評価外		

A-4 就労支援

		第三者評価結果
A-4-(1) 就労支援		
【A17】	A-4-(1)-① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A18】	A-4-(1)-② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	
<コメント> 評価外		
【A19】	A-4-(1)-③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	
<コメント> 評価外		